

平成27年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立清原北小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成27年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査期日

平成27年4月21日(火)

3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年(国語、算数、理科、質問紙)

中学校 第2学年 (国語、社会、数学、理科、英語、質問紙)

4 本校の実施状況

第4学年	国語	19人	算数	19人	理科	19人
第5学年	国語	19人	算数	19人	理科	19人

5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。

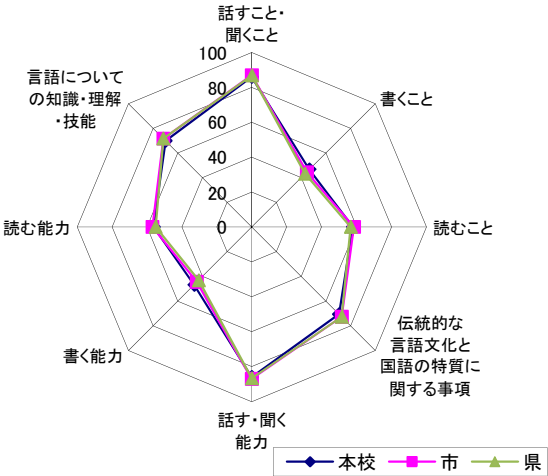
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立清原北小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	86.0	87.0	86.7
	書くこと	46.7	44.5	43.1
	読むこと	57.9	58.5	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.6	72.8	72.8
観点	話す・聞く能力	86.0	87.0	86.7
	書く能力	46.7	44.5	43.1
	読む能力	56.3	57.0	55.1
	言語についての知識・理解・技能	69.9	71.7	71.7



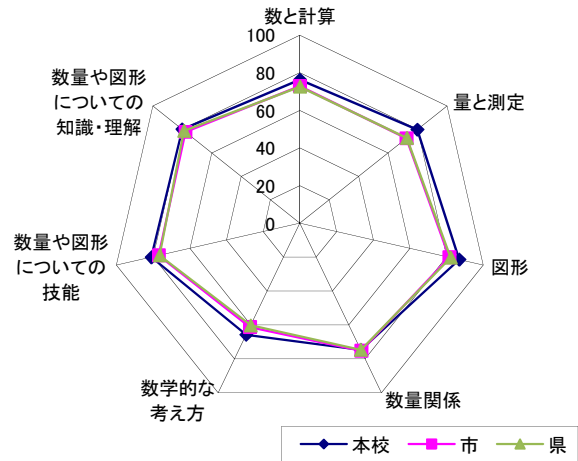
★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話の中の大切なところに気をつけて聞くことができている。 ●2人の登場人物の考え方の共通点や相違点を整理して聞くことが苦手な児童もいる。	・普段の会話の中でも相手の意見を大切に聞くとともに、自分の考えとの共通点や相違点を意識して聞くよう指導する。
書くこと	○文章を書く際の構成については、理解できている児童が多い。 ●報告書を作成するに当たり、資料を効果的に活用できない児童が見られた。 ●条件に従って作文を書く際は、条件の内容が理解できず、十分な内容を書けない児童が見られた。	・授業やその他の場面で新聞作りなどをする時、どういった資料やデータ、写真を活用すると相手に効果的に伝えることができるかを考える時間を設けていく。
読むこと	○物語では、物語を読んで登場人物の気持ちを正しく想像することができる児童が多かった。 ●説明文では、目的に応じて文章の大切な点を読み取れない児童が見られた。	・関心のない内容や分かりにくい文章は、理解できていない児童が多いため、繰り返し使われている言葉や問題文に出てくる言葉と同じ言葉が使われている文章のところに線を引くなどして整理していくよう指導する。 ・説明文では筆者の言いたいことはどんなことなのかを意識して読むよう指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○昨年度学習した漢字については、きちんと理解できている児童が多い。 ●反対の意味の言葉、主語と述語、ローマ字による記述の仕方についての理解が十分でない児童が多い。	・学習した漢字を忘れてしまう児童がいるため、学習相談タイム等を活用し、復習をする機会を設けていく。 ・反対語や指示語などの使い方を、国語の時間を中心に継続して指導することで定着を図る。

宇都宮市立清原北小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	76.3	72.9	72.6
	量と測定	79.8	72.4	72.6
	図形	86.8	81.4	82.1
	数量関係	74.6	75.2	74.6
観点	数学的な考え方	65.8	61.3	60.2
	数量や図形についての技能	81.0	77.0	76.5
	数量や図形についての知識・理解	80.0	77.8	78.8



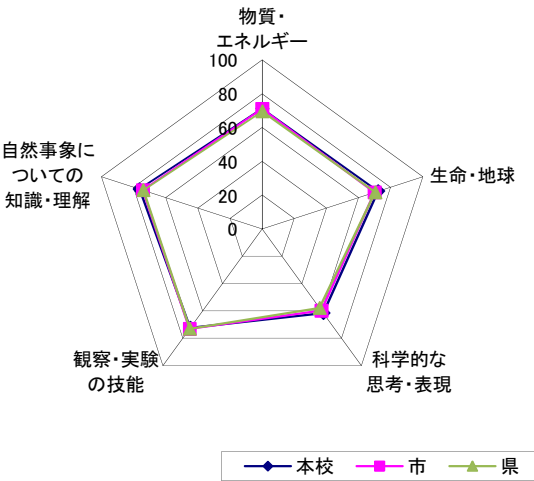
★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○●計算の仕方などを理解し、おおむね良好と言えるが、慌ててしまったり、油断したりしてしまい、ミスをしてしまう児童が見られる。	・計算のきまりなどを確認するとともに普段から慎重に計算する、見直しをするといったことを徹底させていく。
量と測定	○時間の分と秒の単位の関係やはかりに示された重さの読み取りを正確に理解できている。 ●身近にあるものの重さが、およそどれくらいなのかを推察することが苦手な児童が多い。	・学習したこと、学習することを自分の生活と関わらせながら指導し、学習したことが生活に生かされていることを実感できる機会を設けていく。 ・実際にものを持つなどの体験的な活動を取り入れ、指導していく。
図形	○三角形や円の定義や作図の仕方については理解できている児童が多い。 ●球の半径と直径の関係については、応用されると誤答してしまう児童も見られた。	・球の半径、直径などについて確認し、理解を深める。 ・問題を読んで得られた情報を図に描き、視覚的に捉えながら、筋道を立てて考えていく場を積極的に設ける。
数量関係	○棒グラフの仕組みや読み取りについてよく理解できている。 ●□を使った式から文章問題を選んだり、文章問題を□を使って数直線に表したりすることが苦手な児童が多かった。	・問題の内容について理解できていない児童もいるため、問題文で大切なところには下線を引くなどして整理していくよう指導する。 ・問題文を読み、加法、減法、乗法、除法のどれを使うのかを判断できるよう、□を使った問題に慣れさせていく。また、苦手な児童には、どれを□にして、どういう式を立てたらいいかを確認しながら問題を解かせていく。

宇都宮市立清原北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	71.2	71.1	69.6
	生命・地球	72.2	70.0	70.3
観点	科学的な思考・表現	61.6	59.8	57.8
	観察・実験の技能	72.4	73.2	73.0
	自然事象についての知識・理解	76.4	74.3	74.0



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○磁石の性質、風やゴムのはたらきについて理解できている児童が多かった。 ●光の性質で鏡に反射した日光を目的とする場所に移動するには、鏡をどう動かすかを理解できていない児童が見られた。 ●虫眼鏡で集めた光のあたたかさの違いが十分に理解できていない児童が見られた。 ●電気を通すものと通さないものを理解し、豆電球の明かりのつき方を説明できた児童は少なかった。	・鏡の反射の仕方、虫眼鏡で集めた光のあたたかさについて、体験活動を取り入れながら確認したり、指導していく。 ・電気を通すものと通さないものを授業の中で整理する。その上で、豆電球の明かりのつき方について考える場を設ける。 ・実験の結果からどう言ったことが言えるのかを自分の言葉で表現する機会を設けていく。
生命・地球	○影の向きと太陽の向きについて理解できている児童が多い。 ○身の回りの昆虫や植物については、理解できている児童が多い。 ●虫眼鏡の使い方、温度の測り方、方位磁針の使い方など、基礎的な実験方法の理解が十分ではない。 ●昆虫の成虫の足のようすを理解できていない児童が見られた。	・操作や体験をしながら基礎的な知識の確認を行い、練習問題などで定着を図る。 ・昆虫の体のようすについて確認し、定着を図る。

宇都宮市立清原北小学校 第4学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学校のきまりを守っている」、「家でのかまりや約束を守っている」という質問に対する肯定割合が高い。きまりや約束を守ることの大切さなどについて確認するとともに、日常的に指導していく。

○「友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」、「自分にはよいところがあると思う」、「むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」、「自分の行動や発言に自信をもっている」という質問に対する肯定割合が高い。自己肯定感が高い児童が多いが、成功体験を積み重ね、また、達成感などを味わわせながら自信を高めさせていくとともに、引き続き、自分の思いや考えを発言しやすい雰囲気づくりに努めていく。

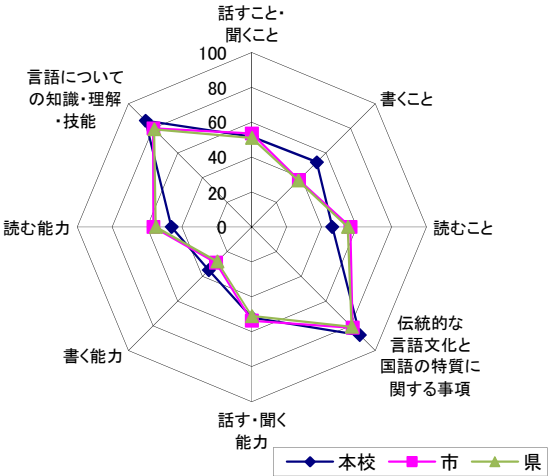
●家庭での学習において「家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」という質問に対する肯定割合が低い。KASA(放課後等活動)学習を行っているが、限られた時間であるため、家でも学習する習慣をつけさせていく。また、学習に限らず、規則正しい生活の大切さを理解させ、基本的な生活習慣が身につくよう指導していく。なお、現在、自主学習カードを記入させているが、カードの工夫や改善を図っていく。

●「地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある」、「分からない国名や地名があったらインターネットや地図帳などを使って調べている」という質問に対する肯定割合が低い。社会科は好きだという児童が多いので、授業と関連させながら興味・関心を高めていく。また、社会科だけでなく、興味あることや分からないことは、自分で主体的に解決していけるよう授業の中でも自力解決の場を大切にしていく。

宇都宮市立清原北小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	51.8	53.6	51.0
	書くこと	52.6	38.1	37.6
	読むこと	46.1	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	87.5	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	51.8	53.6	51.0
	書く能力	34.9	29.0	28.0
	読む能力	46.1	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	86.1	79.9	79.1



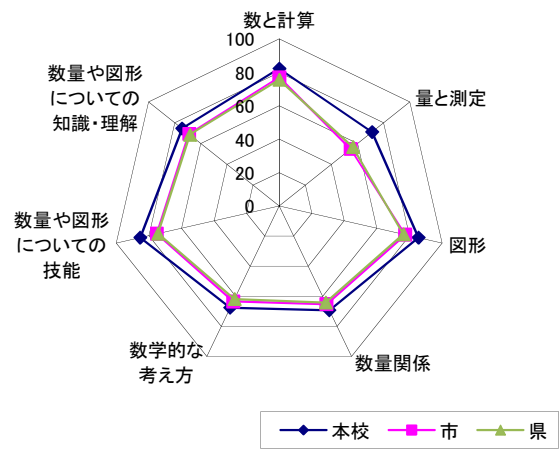
★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの進め方の工夫や調べたことを発表するための要点のまとめ方をよく理解している。 ●相手に分かりやすく伝えるための適切な資料の選択が苦手な児童がみられた。	・調べ学習の発表で相手に分かりやすく伝えるための手段として、どんな資料を提示すると効果的なのか、また、図や写真、グラフなどの資料が何を示しているのかを考えるように指導する。
書くこと	○基本的な文章の構成をきちんと理解し、作文することができている。 ●段落ごとの役割として、「理由」「具体例」「まとめ」を書くことをできているが、それぞれの内容が十分でない児童もみられた。	・自分の意見や考えを述べる場面で、理由や具体例を交える場面を設け、説得力のある発言や文章を書けるように指導していく。
読むこと	○物語の登場人物の気持ちを正確に想像することができていた。 ●説明文では、段落の内容を十分に理解できず、段落相互の関係を正しくとらえることができなかった。	・説明文の学習では、段落の内容を十分に理解させ、筆者がその段落で何を言いたいのかを考えさせる。 ・「なぜなら」「たとえば」のように、キーワードとなる言葉に着目させながら、段落の関係に気づけるように指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字辞典の使い方がきちんと身についている。 ○慣用句の意味を正しく理解している児童が多く見られた。 ●昨年度、学習した漢字の読みについてはよく身についていたが、書きについては定着が十分でない児童が見られた。	・漢字の意味も理解させながら、漢字の書き取りの練習に取り組ませる。 ・漢字スキルの小テストやモジュールの時間を活用して、繰り返し漢字の学習を行うようにする。

宇都宮市立清原北小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	82.2	77.0	75.6
	量と測定	71.1	54.8	56.5
	図形	85.5	77.4	76.3
	数量関係	69.3	65.3	64.3
観点	数学的な考え方	67.7	63.5	61.9
	数量や図形についての技能	85.4	75.2	74.5
	数量や図形についての知識・理解	74.4	69.1	68.4



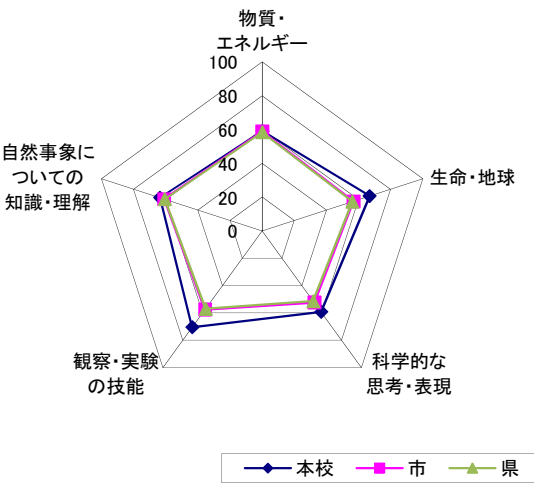
★指導の工夫と改善 ,○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○整数と小数のかけ算、わり算では、筆算の仕方をきちんと理解し、正しく計算することができていた。 ○文章問題では、図を正しく読み取り、問題に合った式を立て、答えを導くことができていた。 ●概数では、どの位の数をも四捨五入するのかが分からず、正しく概数で表せない児童が見られた。	・○の位までの概数という言葉の意味をきちんと理解させ、正しく概数に表せるように、モジュールの時間や授業の初めに復習の時間を設ける。
量と測定	○正方形や長方形の面積の求め方や角の大きさの測り方がきちんと身についている。 ●身近にあるものの面積の大きさを推察することが苦手な児童が多く見られた。	・実際に身近なものの大きさを測るなど体験的な学習を取り入れていく。 ・授業で学んだことを生かして、児童の身近にあるものの量を測定するような学習も行っていく。
図形	○立体の特徴をきちんと理解し、辺と辺の関係を正しく答えることができていた。 ●図形では、いろいろな四角形の対角線の性質についての理解が十分ではない。	・それぞれの図形の特徴を見直すとともに、対角線を作図し、実際にその性質を確かめ、理解を深める。
数量関係	○正方形や長方形の面積の公式を活用して、様々な複合図形の面積を求めることができていた。 ●伴って変わる2つの数量の関係について考え、それを式に表すことが苦手な児童が多い。	・表やグラフを活用して、2つの数量がそれぞれどのように変化しているか気づかせ、その関係を式に表す問題に慣れさせていく。

宇都宮市立清原北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	59.2	59.0	58.3
	生命・地球	66.9	56.8	56.1
観点	科学的な思考・表現	59.3	52.5	51.4
	観察・実験の技能	70.5	57.6	57.0
	自然事象についての知識・理解	63.6	61.0	60.6



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○電気のはたらきでは、どういつなぎ方が直列つなぎなのかをよく理解できていた。 ○空気と水の性質では、それぞれが押し縮められたとき、体積がどう変化するかを正しく理解できている。 ●空気が温められると体積が増加することは理解できているが、筒の中のゼリーが動くことの原因として適切に説明できる児童は少なかった。 ●水が氷になるとき、どのように温度が変化していくかを十分に理解できていない。	・実験の様子や結果を既習の知識を生かしながら、自分の言葉で説明する場面を設けるようにする。 ・物質が変化していくときの温度の変化などについては、実際に実験で確認させ、正しい知識を身につけられるように指導していく。
生命・地球	○人の体のつくりでは、背中がまるく曲げられる理由をきちんと説明できる児童が多かった。 ○月と星では、星や星座は時刻とともに見える位置は変わるが、並び方は変わらないことをきちんと理解できていた。 ●天気のように、水は熱しなくても蒸発することは理解できているが、ふたをしたビーカーの内側に水滴がつく理由を正しく説明できない児童が多かった。 ●月の見える形がどのように変化していくのかをきちんと理解できていない児童が見られた。	・学んだ知識を使って、日常生活の様々な事象を自分の言葉で説明する場面を設けるようにする。 ・模型や映像を活用して、自然現象の変化を実際に確認させ、理解が深まるように指導していく。

宇都宮市立清原北小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学習に対して自分から進んで取り組んでいる。」「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。」の肯定割合が高い。学習に意欲的に取り組めているので、身近なものを教材にしたり、体験的な活動を取り入れたりして、引き続き、学習への関心が高まるように指導していく。また、モジュールや学習相談タイムを活用し、基礎基本の確実な定着を図っていきたい。

○「学校のきまりを守っている。」「家でのかまりややくそくを守っている。」の肯定割合も高い。きまりややくそくを守ることで集団生活が円滑に送れることを確認させ、学校や家庭のかまりを守ることで社会での生活につながっていくことを指導していく。

●「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことはむずかしい」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」という質問に対する肯定割合が低い。自分の考えや意見を整理する時間を十分に設けたり、発言の良さを認めたりしながら、児童が自分の考えを自信をもって発言できる雰囲気作りに努めていく。

●「次の教科などの学習は好きですか」の質問に関して、他の教科に比べて、社会の肯定割合が低い。「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」や「分からない国名や地名があったら、インターネットや地図帳などを使って調べている」の肯定割合は高いので、知識の詰め込みの学習にならないように、図やグラフなどの資料から児童が気づいたことを話し合う活動を取り入れたり、写真や映像を活用したりして、学習に意欲的に取り組めるようにしていく。また、時事的なニュースや出来事なども取り入れ、社会の学習への関心を高められるように工夫していく。